



GPS浮子と投下試験の様子

## GPS浮子開発 ～流量観測現場のDX化～

流量観測現場の安全確保・省人化を実現するGPS浮子を開発しました。GPS浮子とは、当社のGPSラジオゾンデ技術を応用して、増水した河川などの流量観測のDX(デジタルトランスフォーメーション)を実現するシステムです。

小型・軽量化したGPSモジュールを浮子※に搭載して河川に投下するだけで、1秒ごとの流速および水流の方向を観測でき、観測データは受信装置に伝送・自動保存されます。またこのデータには位置情報(緯度・経度)も含まれており、複数本投下することで河川の2次元的な流速・水流の方向分布も把握できます。そのため、作業労力を軽減し、少人数での観測が可能になります。

明星電気は、現場観測員の安全を確保するとともに、河川計画・管理のDX化に貢献します。

※浮子: 流速を計測するための浮子は、橋梁などから河川に投下する棒状のもの。一般に、本体は紙製で水に浮くようになっており、底部におもりがついている。計測時の水深に応じて、最大4mまでの浮子を使い分ける。

(担当: 気象防災事業部)



SLIMIに搭載した機器を説明する当社従業員

## 「群馬デジタルイノベーションチャレンジ」 インターンシップを実施

3月1日、群馬県の人材育成事業「群馬デジタルイノベーションチャレンジ(デジタルチャレ)」の一環で、インターンシップを実施しました。このインターンシップには群馬県立桐生高等学校物理部の生徒5名が参加し、展示場や製造ラインを見学しました。その後の技術者との交流では、事業部の紹介や小型月着陸実証機(SLIM)を例にした設計から打ち上げまでの業務工程や、技術者が目標を達成するにはどのような技術や知識を身に付けたらよいか、何を勉強すればよいかなどをわかりやすく説明しました。

参加した生徒からは、「実際の開発現場で使われる技術や求められる力を知ることができてとても良い体験になった」「技術者がその道に進んだ理由など聞くことができて、これからの進路を考える上でとても参考になった」などの感想をいただきました。

明星電気は、今後も次世代人材の育成に貢献できる活動を積極的に進めていきます。

(担当: 気象防災事業部、宇宙防衛事業部、生産本部、総務人事部)



製造ラインの見学

## 小学生向けキャリア教育のための副読本に掲載

小学生向けキャリア教育のための副読本「小学生のためのお仕事ノート」に、明星電気を取りあげられました。

この冊子は、伊勢崎市教育委員会の協力のもと、授業の副読本として伊勢崎市内の小学3・4年生全員に配布される予定です。国が推進するキャリア教育において、小学生が自分の暮らす地域の産業や企業を知り、情報の一方通行ではなく、「知る」から「考える」まで導くようサポートするものです。当社紹介ページでは、製品の製造工程や製品がわたしたちの生活にどう関わっているのか、当社従業員の声と合わせて小学生向けにわかりやすく説明されています。

当社はさまざまなメディアを通じ、将来の担い手である学生に向けて積極的に情報を発信していきます。

(担当: 総務人事部)

【文中: 敬称略】


 出典: 「わたしたちの地域のお仕事ノート」  
2024年度版」

## Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の発展に貢献していきます。